

各 位

会 社 名 株式会社アートフォースジャパン
 代表者名 代表取締役社長 山口 喜廣
 (コード番号 5072 TOKYO PRO Market)
 問合せ先 取締役経営統括本部長 持塚 隆
 (TEL 0557-45-1109)

2022年12月期通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2022年2月15日に公表いたしました2022年12月期通期(2022年1月1日～2022年12月31日)の業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年12月期通期連結業績予想と実績との差異(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,665	百万円 168	百万円 153	百万円 100	円 銭 399.79
今回実績(B)	4,788	124	124	90	361.47
増減額(B-A)	122	△43	△29	△9	
増減率(%)	2.6	△25.9	△19.0	△9.4	
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	4,438	110	104	58	234.70

- (注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、2022年12月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。
2. 前期実績については当該会計基準等適用前の実績値を記載しております。

2. 差異の理由

2022年12月期通期(2022年1月1日～2022年12月31日)につきまして、売上高は各報告セグメント事業のすべてにおいて当初予想通りに推移し、前回発表予想より122百万円を上回る結果となりました。

一方、利益については、インフレの進行や金融資本市場の変動等と急激な為替相場の円安進行も伴い、エネルギー価格や各種原材料の高騰が続いており、売上原価は工事原価経費の縮減を上回り、前回発表予想より165百万円増加して売上総利益は42百万円下回る結果となりました。販売費及び一般管理費は前回発表予想より1百万円増加して営業利益は124百万円と前回発表予想より43百万円下回る結果となりました。

営業外収益及び費用については、助成金等その他の収入8百万円の発生と支払利息5百万円の縮減があり、経常利益は124百万円と前回発表予想より29百万円下回る結果となりました。また、工事施工機械等入替に伴う固定資産売却益6百万円の発生があり、上記の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等が前回発表予想より13百万円減少したことにより90百万円と前回発表予想より9百万円下回る結果となりました。

以上